

守る水と活かす水



命を育む自然の恵み

水と生きる



旭の滝 (粕川町中之沢)



赤城大沼 (富士見町赤城山)



赤城大沼用水円筒分水槽 (富士見町赤城山)



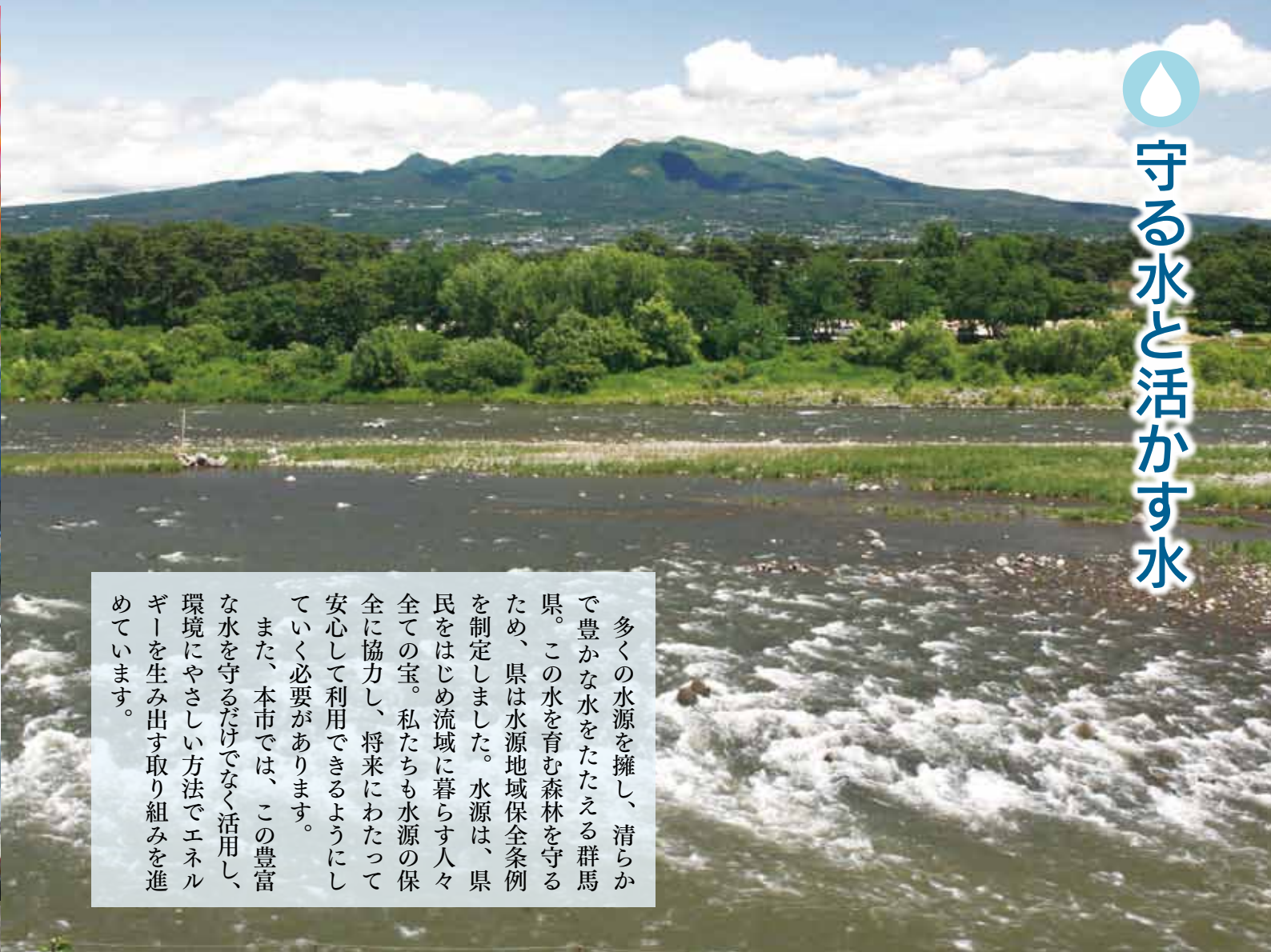
公設共用栓 (敷島浄水場)

私たちの暮らす前橋市は自然の恵み「水」が豊富な都市です。地下水や川の水として私たちの暮らしを潤す赤城山からの恵み。市内の中心を流れる清らかな利根川や豊富な水量を誇る広瀬川。これらは歴史・文化・産業を育んできました。

現在、暮らしの中には当たり前のように水があります。蛇口からは、いつでも絶えることなく水が流れ出てきます。だからこそ、この恵みに感謝しなくてはいけないのかもしれない。

本市では未来に向けて、水を生かした新たな取り組みを始めました。小水力発電は地球に優しい再生可能エネルギーとして、期待を集めています。

水と仲良く生きていきたい。それは私たちの願いです。今も。今までも。そして、これからも。



多くの水源を擁し、清らかな水をたたえる群馬県。この水を育む森林を守るため、県は水源地域保全条例を制定しました。水源は、県民をはじめ流域に暮らす人々全ての宝。私たちも水源の保全に協力し、将来にわたって安心して利用できるようなしていく必要があります。

また、本市では、この豊富な水を守るだけでなく活用し、環境にやさしい方法でエネルギーを生み出す取り組みを進めています。

水の力で生み出すエネルギー 小水力発電

小河川や水路に流れる水を活用して、小規模な発電を行う小水力発電。自然から得られる再生可能なエネルギーとして、現在注目を集めています。

本市では、平成22年から実用を開始しました。佐久間川(西片貝町五丁目)、不動川(富士見町時沢)、矢田川(大手町二丁目)に設置し、施設の照明や町内の防犯灯、電気自動車の充電用電力として利用しています。

■水の力で飛躍する都市へ

現在の小水力発電で得られる電力は小規模ですが、今後、技術革新が進めば今よりも大きな電力を得られると思います。また、量産化が進みます。また、コストが下がることで、将来的には家庭や地域の電力供給源として役に立つことが期待されています。



佐久間川に設置した小水力発電装置。昔の水車を思い出す人も多いことでしょう。発電した電気は児童文化センターや前橋子ども公園で利用しています